

## 主体的な取り組みとなるか

6次産業化推進拠点施設の整備について説明を受けた。

### 質疑

#### 課題解決に向けて

**【基本設計業務】**  
委託先：株式会社 秦・伊藤設計  
契約額：495万円  
工期：令和5年3月24日

#### 【意見交換会】

8月より若手農業者有志数名と7回実施。「6次産業化に取り組みたい」「施設を活用したい」という意向もあるが、「農業が忙しく手が回らない」「個人では難しい」という課題も挙げられた。**【今後の進め方】**  
○年度内に基本設計を取りまとめる。  
○利用者を募集。  
○「農工商連携」につながる6次産業化推進拠点施設としてのあり方を検討する。

**委員** 課題解決に向けて誰が検討を行うのか。若手農業者から意見があったか。

**当局** いかにも所得を残せるか、自分たちで主体性を持ってやっていけるか、検討の途中である。

#### 支援のあり方

**委員** 行政としてどういった支援をしていくのか。  
**当局** 対象者に寄り添いながら情報の収集や提供など、伴走型支援をしていきたい。



#### コーディネーター

**委員** 組織化について、コーディネーターの力を借りることはどうか。  
**当局** 適任の方が探せず、まだいない状態。引き続き探しながら、その間はバックアップしていきたい。

#### 商品のアイデア

**委員** 若手農業者との話し合いの中で、具体的な商品のアイデアは出てきたか。

**当局** リンゴやトマトなど果実を絞ったジュースや、地域の野菜を活用したカレーなどの意見があった。

#### 今後のスケジュール

**委員** 利用開始の目標時期はいつか。  
**当局** 令和5年度工事完了、6年度利用開始を目標にしたい。

その他の説明  
○浅立地区農業集落排水処理施設の公共下水道接続後の施設利用について

## 利便性の向上へ

町道路線の認定及び廃止について説明を受けた。

菖蒲地内の国道287号の道路改築事業を受けて、新たに設置される菖蒲分館までの接続道路を町道とするもの。これにより集落内の生活安全の確保及び

利便性が向上する。国道287号改築事業の早期完了を期待したい。

**【路線名】**  
菖蒲緑の里線

